

越前森林計画区

国有林野の管理経営



第4次地域管理経営計画
計画期間:平成23年4月1日～平成28年3月31日

近畿中国森林管理局

1 はじめに

国有林野事業では、全国に158ある森林計画区毎に、「地域管理経営計画」と「国有林野施業実施計画」を策定しています。

平成22年度には、福井県に位置する越前森林計画区において、国有林野の管理経営に関する基本的事項や国有林野の維持及び保存に関する事項、国民参加による森林の整備に関する事項などについて、平成23年度を始期とする5年間の計画を策定しました。

以下に計画の概要を紹介します。

〈 策定する2つの計画 〉

①地域管理経営計画とは

森林管理局長が、農林水産大臣の定める国有林野の管理経営に関する基本的な計画に即して、流域を単位として定められた森林計画毎に、今後5年間を見通した管理経営の基本的事項を定める計画です。

②国有林野施業実施計画とは

地域管理経営計画に即して、森林管理局長が、箇所別（林小班単位）に、今後5年間の伐採、更新等の保育及び林道、治山の事業量を定める計画です。

2 越前森林計画区の特徴

越前森林計画区の国有林野は29,118haで、ごく一部の海岸林を除き、その多くが石川県境の加越山系、九頭竜川上流部の九頭竜湖周辺や越美山地に位置しています。

計画区森林総面積に占める国有林の割合は13%と低いものの、その98%が水源かん養保安林に指定されており、また、21%が公園に指定されていることと合わせ、水源かん養機能の発揮やレクリエーション・保健休養の場としての利用が期待されています。

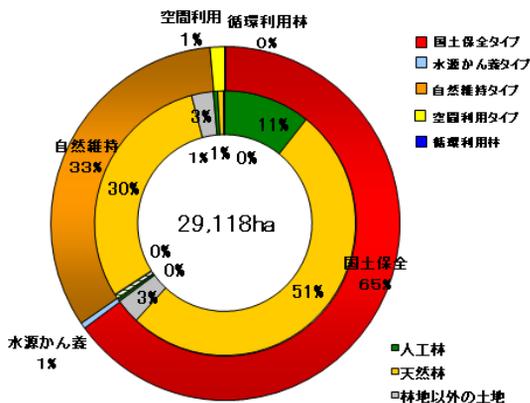
また、大型哺乳類や猛禽類等の貴重な生息区域として、その保全が求められており、保護林や近県国有林と連携した「緑の回廊」が設定されています。



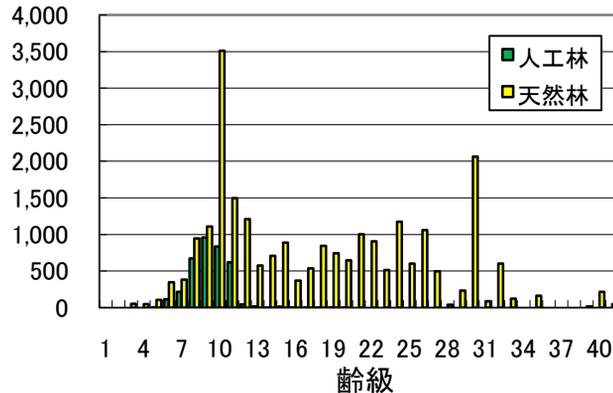
森林の現況

○約1割を占める人工林は、スギがほとんどを占めています。
天然林は9割を占めており、ブナやミズナラ等の落葉広葉樹が主体となっています

越前計画区・機能類型別人天別面積グラフ



面積(ha) 越前森林計画区 人天別・齢級別面積



3 計画策定の考え方

(1) 機能類型に応じた管理経営

森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、下記の機能類型区分に応じた国有林野の管理経営を推進します。機能類型別面積は、「国土保全林」と「森林と人との共生林」の公益林の面積がほとんどを占めています。

機能類型区分		面積 (ha)	目指すべき森林の姿
公益林	国土保全タイプ	18,908	樹木の根が土壌に張り巡らされ、落葉層が保たれ、下草の発達が良好な森林
	水源かん養タイプ	156	隙間が多く雨水を吸収しやすい土壌を有し、多様な樹種で構成される根や下草の発達が良好な森林
	自然維持タイプ	9,643	原生的な森林生態系を保つ森林や、貴重な動植物の生息・生育に適した森林
	森林と人との共生林	10,039	優れた自然美を有する森林や、史跡・名勝等と一体となって特色ある景観や歴史的風致を構成する森林
資源の循環利用林		15	成長力が旺盛で優れた木材等の林産物の生産に適し、林道等が整備された森林

(2) 計画策定のポイント

- (1) 保護林（入谷林木遺伝資源保存林）を 31ha 拡充しました。
- (2) レクリエーションの森（前坂野外スポーツ地域）を指定解除しました。
- (3) 保護林とレクリエーションの森を見直した結果、機能類型の「水土保持林」が約200ha 増えました。
- (4) 伐採は、分収林の皆伐（主伐）を計画するとともに、針広混交林に向けてスギ人工林で約 30千m³の間伐を実施します。



入谷林木遺伝資源保存林の拡充区域（入谷国有林：大野市）

4 計画の概要

(1) 主要事業

伐採については、主伐で分収林の皆伐を、間伐で約30千m³（557ha）を計画します。

		第4次計画	第3次計画
伐採総量	主伐	1,483m ³	—
	間伐	29,565m ³	46,720m ³



皆伐指定箇所 分収造林（仏原国有林：大野市）

計画期間における、更新、保育、林道、治山の各事業は下表のとおり計画します。

		第4次計画	第3次計画
更新総量	人工造林	—	—
	天然更新	3.71ha	—
保育	下刈	—	—
	除伐	—	—
林道事業	開設	1,023m	1,000m
	改良	55m	123m
治山事業	保全施設	23箇所	59箇所
	保安林整備	230.21ha	111.12ha

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

○保護林

第4次計画で、入谷林木遺伝資源保存林の拡充(31ha)を行いました。

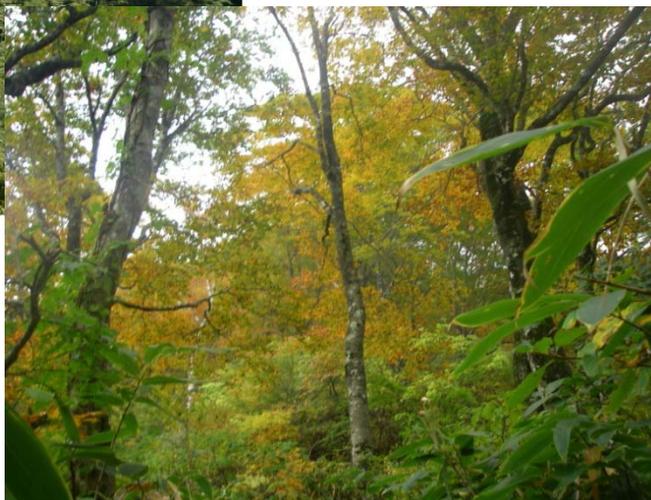
その他3箇所(箇所)の保護林は引き続き設定します。

保護林以外の国有林野であっても、生物多様性の保全のため、池沼、沢敷、湧出地、草生地、懸崖地などの保全に取り組みます。



経ヶ岳大型鳥類生息地保護林

(経ヶ岳国有林:大野市)



楢俣ブナ植物群落保護林

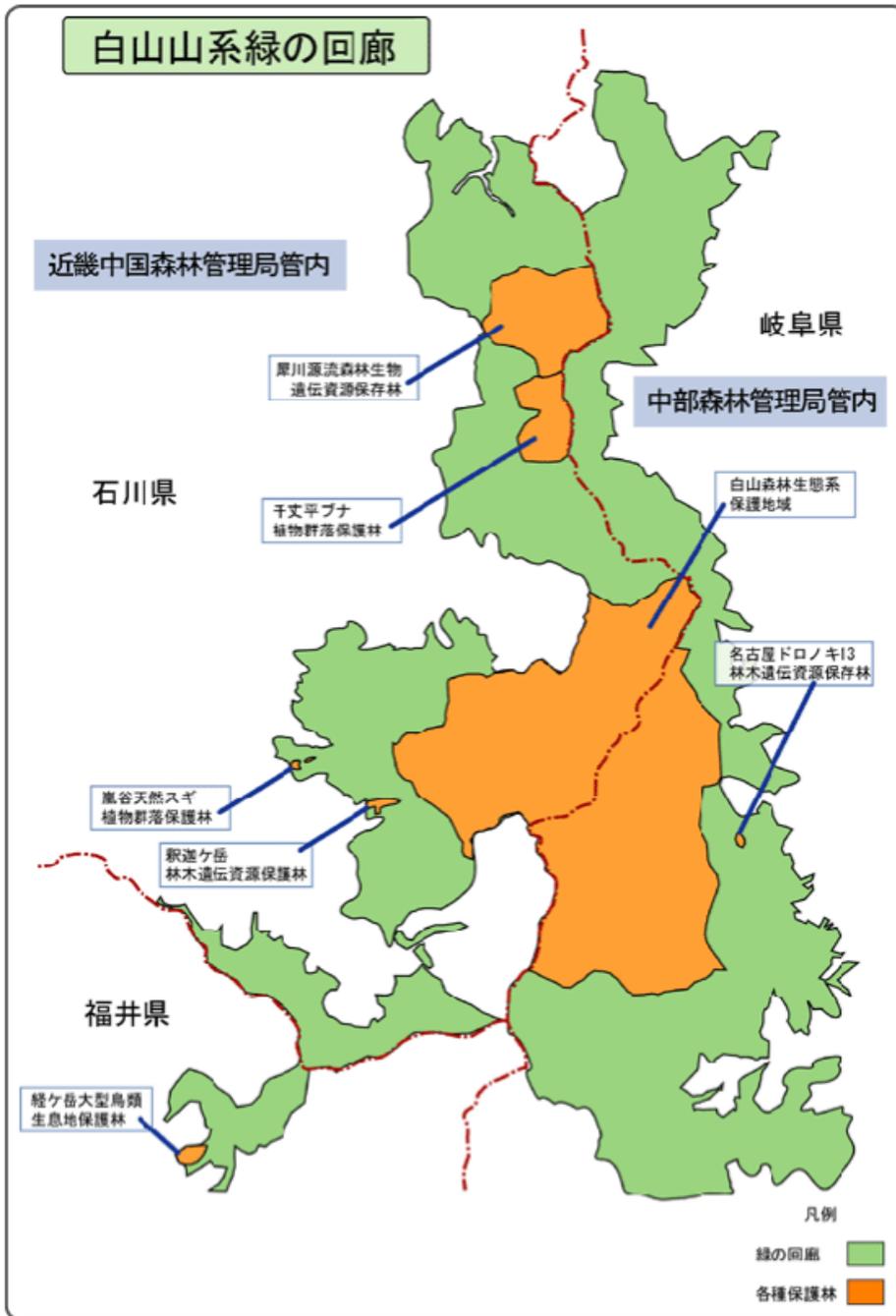
(冠山国有林:池田町)

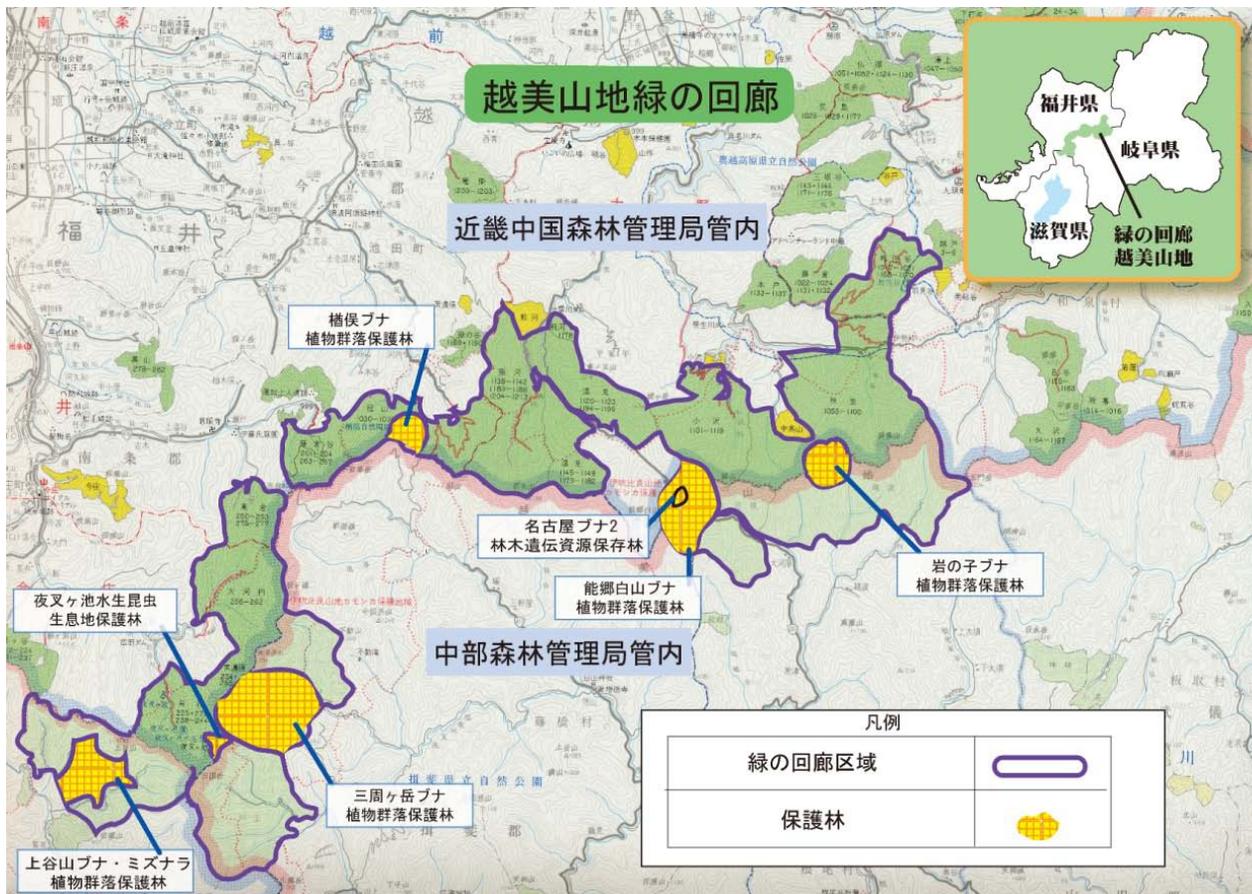
名称	特徴等	面積
入谷林木遺伝資源保存林	ヒノキ、ミズナラ、ブナ、コウヤマキ等の林木遺伝資源の保存	54.41ha
楢俣ブナ植物群落保護林	越美山系における典型的な日本海型ブナ林	162.12ha
夜叉ヶ池水生昆虫生息地保護林	特異な分布を示している水生昆虫の生息地	16.00ha
経ヶ岳大型鳥類生息地保護林	大型鳥類の生息、繁殖に必要な地域の保全	79.28ha

○緑の回廊

個々の保護林を連結して、野生生物の生息・生育地の拡大と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図るため、富山、岐阜、石川、福井の4県にまたがる「白山山系緑の回廊」(越前森林計画区1,338ha)と、福井県、岐阜県及び滋賀県にまたがる「越美山地緑の回廊」(越前森林計画区15,212ha)を設定しています。

緑の回廊では、整備や管理等に関する方針を定め、協議会や自然保護団体等と連携し、モニタリングなど野生動植物の保護に係る各種取組を実施します。





○ツキノワグマ等の被害



多発しているツキノワグマによる剥皮害に加え、近年、ニホンジカの計画区域における生息区域の拡大が確認されています。今後、造林木への被害が予想されることから、森林被害のモニタリングを行うとともに、必要に応じて、地域との連携の下、被害の防止に努めます。

テープ巻きによる被害防止(小沢国有林:大野市)

(3) 林産物の供給に関する事項

木材の供給に当たっては、現地の状況に応じ、国土保全等に支障がない箇所については、列状間伐、路網、高性能林業機械の3つを組み合わせた低コスト路網生産システムによる間伐を推進します。

(4) 国有林野の活用に関する事項

○レクリエーションの森

国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として選定し、森林浴や散策、自然観察等広く国民に開かれた利用に供しています。

なお、第4次計画で、前坂野外スポーツ地域(55ha)の指定解除を行いました。

和佐谷風景林(夫ノ池、妻ノ池)



鉢伏山野外スポーツ地域
(今庄365スキー場)



名称	面積	備考
鉢伏山野外スポーツ地域	170.74ha	既設
和佐谷風景林	17.15ha	〃
夜叉ヶ池風景林	168.73ha	〃

(5)国民の参加による森林の整備に関する事項

ボランティア等による自主的な森づくり活動を支援するため、森林整備等へのフィールドの提供を行います。

また、森林教室など森林環境教育の推進に努めます。

北潟国有林に「ふれあいの森」並びに「遊々の森」を引き続き設定します。



遊々の森での森林教室(北潟国有林:あわら市)

設定の目的	名 称	備 考
ふれあいの森	しおさいの森・北潟	39.25ha 継続
遊々の森	広緑の街づくりinあわら	39.25ha 継続